

2019年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。学科の入学者受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「学びの志ふり返り」として「1. 自ら主体的に学ぼうとしている」「2. 高度な ICT スキルを身に付けようとしている」「3. 大学の内外で自らの興味や関心を活かして幅広く学ぼうとしている」「4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている」「5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている」の5項目を6件法によって調査し、2017年度および2018年度の結果と比較することで、入学者受入方針に照らした大学入学者選抜の適切性の検証を実施した(グラフ1～5)。

その結果、6件を1～6点に換算した際の平均値と、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」（以下、「ややそう思う」以上）と回答した者、および、「全くそう思わない」と回答した者の全体に対する **2019年度**の割合は、それぞれ下記の通りであった。なお、**括弧内は2017・2018年度の結果**であり、また、「5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている」については2018年度の新設項目のため、2017年度は調査を行っていない。

1. 自ら主体的に学ぼうとしている

平均値	:	4.34	(2018: 4.19, 2017: 3.98)
「ややそう思う」以上	:	85.7%	(2018: 83.3%, 2017: 83.3%)
「全くそう思わない」	:	2.0%	(2018: 1.1%, 2017: 0.0%)

2. 高度な ICT スキルを身に付けようとしている

平均値	:	4.44	(2018: 4.38, 2017: 4.08)
「ややそう思う」以上	:	84.7%	(2018: 82.2%, 2017: 82.2%)
「全くそう思わない」	:	2.0%	(2018: 3.3%, 2017: 0.0%)

3. 大学の内外で自らの興味や関心を活かして幅広く学ぼうとしている

平均値	:	4.22	(2018: 4.37, 2017: 4.06)
「ややそう思う」以上	:	77.6%	(2018: 85.6%, 2017: 77.9%)
「全くそう思わない」	:	2.0%	(2018: 2.2%, 2017: 0.0%)

4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている

平均値 : 3.87 (2018: 3.93, 2017: 3.63)
「ややそう思う」以上 : 61.2 % (2018: 71.1 %, 2017: 61.1 %)
「全くそう思わない」 : 2.0 % (2018: 3.3 %, 2017: 1.1 %)

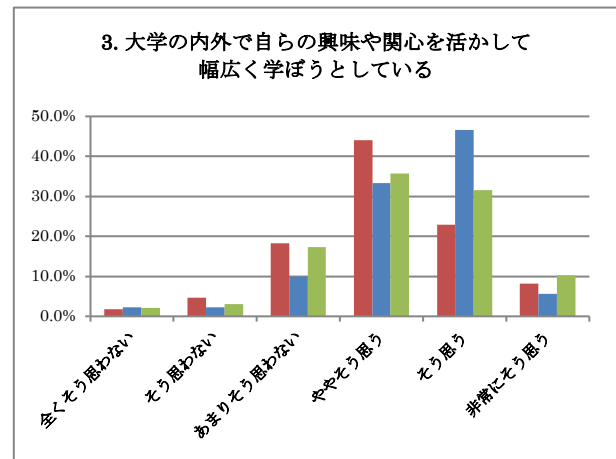
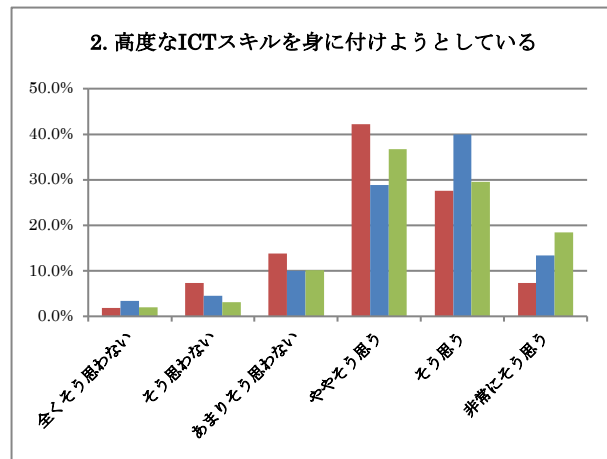
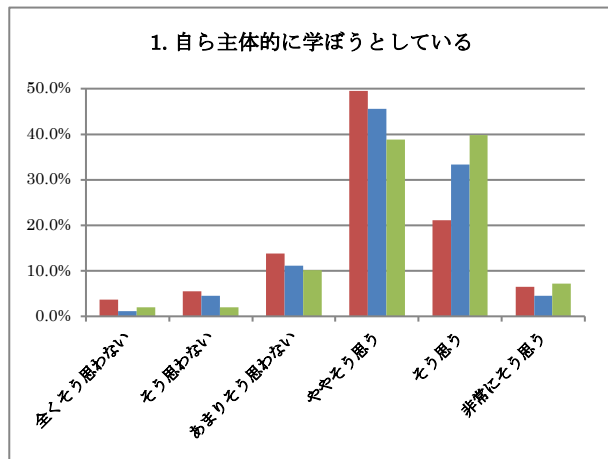
5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている

平均値 : 4.48 (2018: 4.29, 2017年度は未調査)
「ややそう思う」以上 : 88.8 % (2018: 84.4 %, 2017年度は未調査)
「全くそう思わない」 : 2.0 % (2018: 2.2 %, 2017年度は未調査)

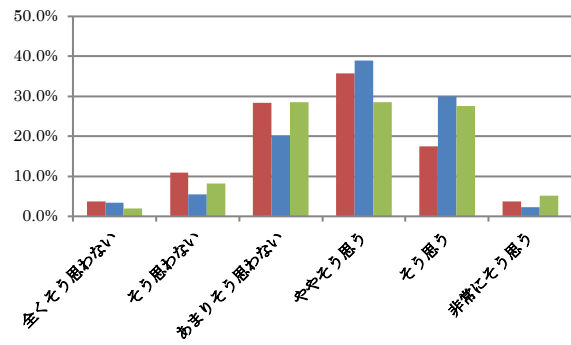
2019年度は、5項目中4項目において、2018年度と同様に「ややそう思う」以上が75%を上回り、「全くそう思わない」は5項目全てにおいて3%を下回っており過去2年度には見られなかった結果となっている。また、平均値は5項目中4項目において4.2を超え2018年度より向上したと言える。さらに、5項目全てで「非常にそう思う」との回答率が高まりつつあり、強い意欲を示す入学生が増える傾向にあると見られる。これらをあわせて検討すると、情報福祉マネジメント学科においては、アドミッション・ポリシーに基づいた、より適切な学生の受け入れが実施されていると判断できる。

ただし、「さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている」の項目については平均値および「ややそう思う」以上の回答率のいずれにおいても他の項目と比較して著しく低い値となっているが、これは過去2年度の結果と同様である。従って、この項目は学科名と最も関連のある項目であることから、学科HPにおける求める人物像等で、この要件の意味するところを受験生が理解できるよう周知を図る必要があるとともに、入学試験の内容に反映させる必要がある。

■ 2017年度 ■ 2018年度 ■ 2019年度



4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている



5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている

